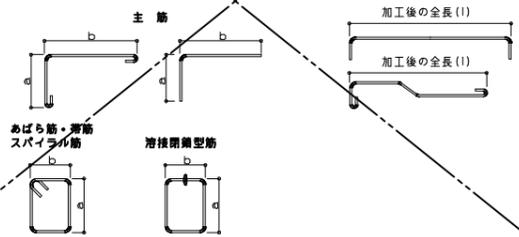


3-2 加工寸法の許容差

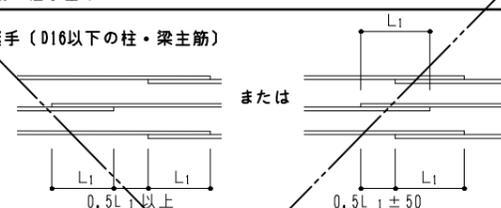
項目	符号	許容差 (mm)	
		一般・標準	長期
各加工寸法	フープ・スターラップ・スパイラル筋	a, b	± 5
	主筋	a, b	± 10
加工後の全長	D25以下	a, b	± 15
	D29以上D41以下	a, b	± 20
加工後の全長	l		± 15

加工寸法及び加工後の全長の測り方

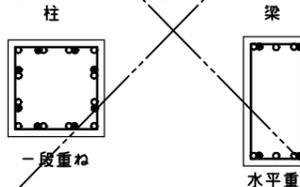


4. 鉄筋の継手基準

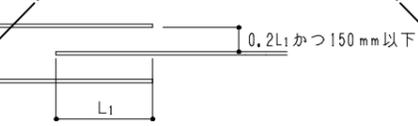
重ね継手 (D16以下の柱・梁主筋)



柱・梁主筋の重ね継手鉄筋の方法 (原則)



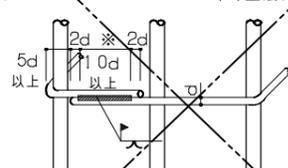
あき重ね継手 (スラブ筋、壁筋のみ)



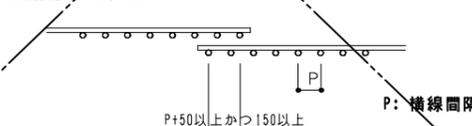
ガス圧接継手



溶接継手 (フープ・スターラップ・C, B, 壁筋)



溶接金網 (鉄筋格子は除く)



5. 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の定着長さ及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	重ね継手長さ		定着長さ	
		L ₁	L ₂	小梁	床・屋根スラブ
SD295A	18	45d または 35d フック付き	40d または 30d フック付き		
	21	40d または 30d フック付き	35d または 25d フック付き		
SD295B	24	30d フック付き	25d フック付き		
	27			25d または 10d かつ	150mm 以上
SD345	30	35d または 25d フック付き	30d または 20d フック付き		
	33			15d フック付き	
SD390	36				
	21	45d または 35d フック付き	40d または 30d フック付き		
	24				
	27				
	30	40d または 30d フック付き	35d または 25d フック付き		
	33				
	36				

(注) 1) 末端のフックは、定着長さ及び重ね長さには含まない。



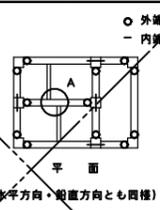
- 径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の d による。
- 耐圧スラブの下端筋の定着長さは一般定着 (L₂) とする。
- 腹筋の重ね継手長さは、上記にかかわらず 150mm とする。
- d は鉄筋の呼び名に用いた数値とする。

定着及び重ね継手の常用長さ (単位: mm)

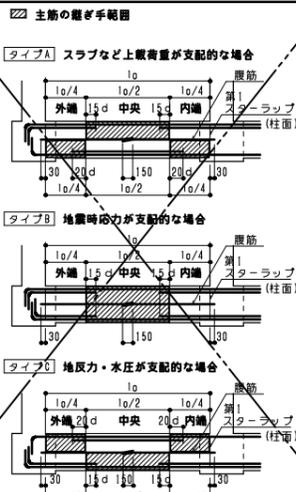
鉄筋径の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
15d	150	200	240	290	330	380	440	480	530	570	620
25d	250	330	400	480	550	630	730	800	880	950	1030
30d	300	390	480	570	660	750	870	960	1050	1140	1230
35d	350	460	560	670	770	880	1020	1120	1230	1330	1440
40d	400	520	640	760	880	1000	1160	1280	1400	1520	1640
45d	450	590	720	860	990	1130	1310	1440	1580	1710	1850

基礎・基礎梁

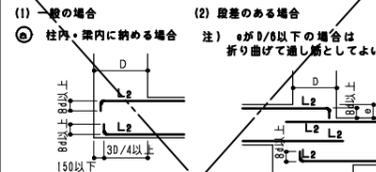
1. 外端・内端の表示区分



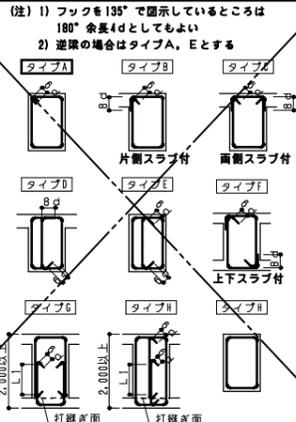
2. 余長・継手範囲



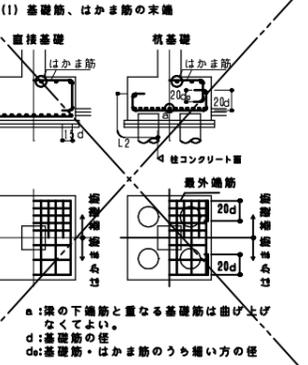
3. 定着



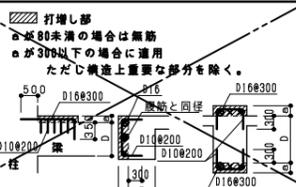
4. スターラップの形状



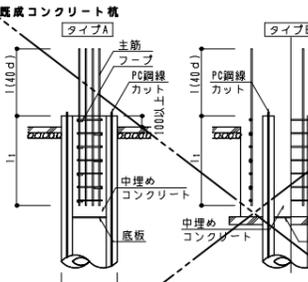
5. 基礎



6. 打増し部補強筋



7. 杭頭処理

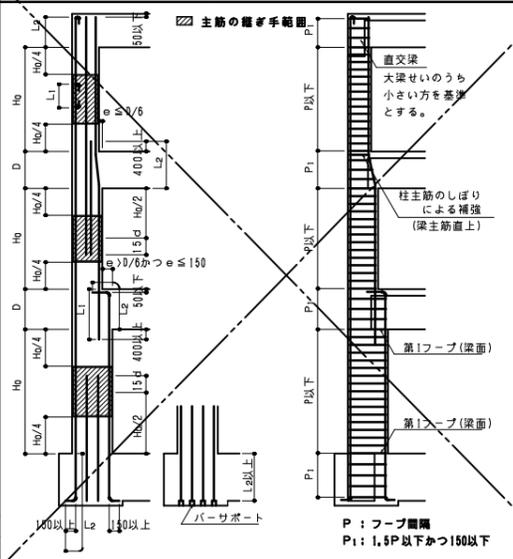


8. 幅止の筋

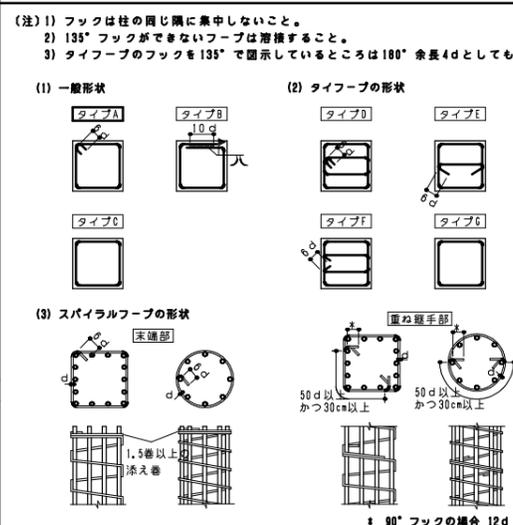


柱

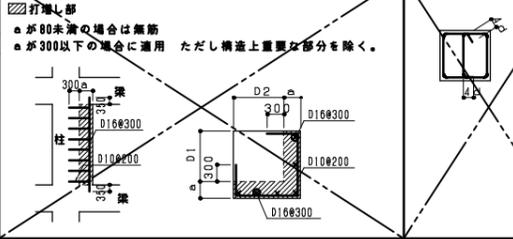
1. 余長・定着・継手範囲およびフープの割付け



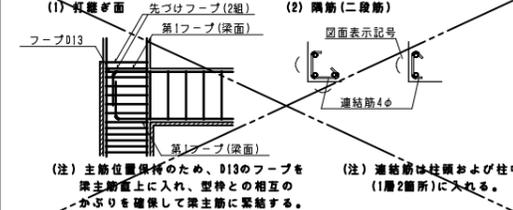
2. フープの形状



3. 打増し部補強筋



4. 幅止の筋



7. 杭頭処理は S-12 を参照する

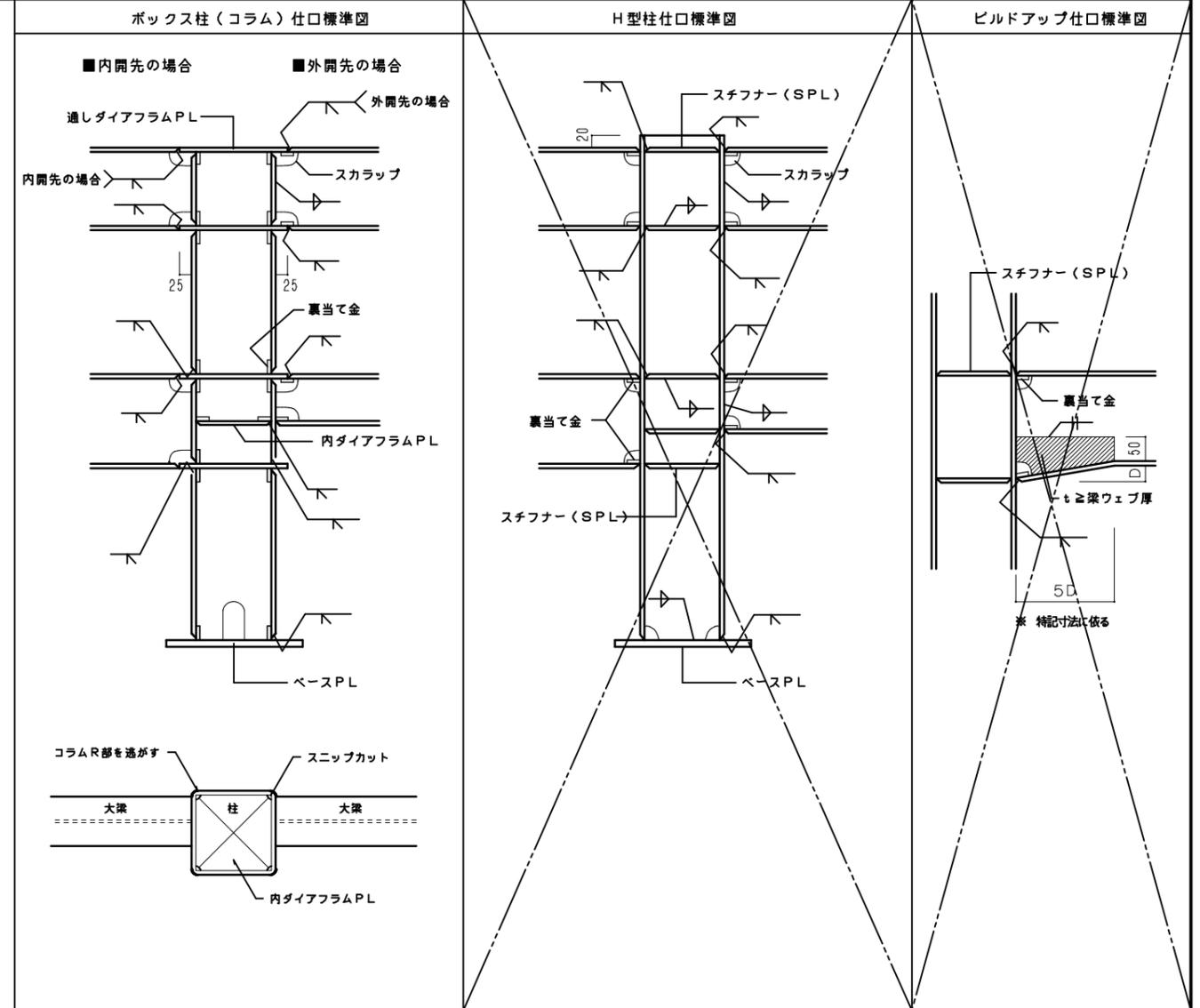
5. 主筋の位置保持 (注) 主筋位置保持のため、D13 のフープを梁主筋重上に入れ、型枠との相互のあきりを確保して梁主筋に緊結する。

(注) 連結筋は柱筋および柱中央 (1層2箇所) に入れる。

アクセス建築計画 三重県知事登録 第1-1078号 一級建築士登録 第242745号 伊藤 幸治 構造設計一級建築士交付 第7026号 構造関係規定に適合していることを確認

突合せ溶接

継手形式	記号	アーク溶接及びノンガスシールドアーク自動溶接				ガスシールド半自動溶接			
		図	板厚mm	寸法mm		図	板厚mm	寸法mm	
突合せ継手	イ		$t \geq 6$	G	6		$t \geq 6$	G	6
			R	0~2	R		0~2	r	35°~45°
		$t \geq 12$	G	6~9	R	0~2	r	35°	
口	ロ		$t = 6 \sim 20$	G	0		$t = 6 \sim 20$	R	0~3
			R	0~2	r		45°~55°		
ハ	ハ		$t \leq 6$	G	$t/2$		$t \leq 6$	G	$t/3$
			$t \geq 6$	G	0		R	0~3	
丁継手	ニ		$t \geq 6$	G	6		$t \geq 6$	R	0~2
			R	0~2	r		35°~45°		
角継手	ホ		$t \geq 6$	G	6		$t \geq 6$	R	0~2
			R	0~2	r		35°~45°		



柱現場溶接	すみ肉溶接	補強すみ肉																		
<p>イによる</p> <p>部分溶接 プレート</p>	<table border="1"> <tr> <td>t1</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>余量 e</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>2.3</td> <td>2.5</td> </tr> </table>	t1	6	9	12	16	19	S	6	8	10	13	15	余量 e	1.6	1.8	2.0	2.3	2.5	<p>$10 \geq h \geq t/4$</p>
t1	6	9	12	16	19															
S	6	8	10	13	15															
余量 e	1.6	1.8	2.0	2.3	2.5															
<p>裏あて金</p> <p>$t \leq 12$ a ≥ 6 材質母材と同じ $t \geq 12$ a ≥ 9 寸法 a x 25</p>	<p>エンドタブ</p> <p>35又は2t以上</p>	<p>スカロップ</p> <p>$h \leq 450$ r = 35 $h > 450$ r = 40 (35)</p>																		

母屋・胴縁関係

1. 取付方向及び取付位置

2. 取付部材(ピース)の寸法

取付部材(ピース)	
母屋・胴縁のせい(D)	65 L-75×75×6
	75 L-90×90×7
	90 L-100×100×7
	100 L-100×100×7
	120 L-120×120×8
取付ボルト	2-M12
	1-M16
孔径は軸径+1	25 25 100 0 0
	60 130 30 30 60 10 60

3. 取付部材(ピース)の接合

梁、柱に取付く場合の溶接
ピースの長さ L ≤ 100
B=梁、柱の幅

のぼり胴縁付近及び壁の出隅部
a 材: 使用するボルト、部材は一般部分にならう
b 材: 部材は一般の胴縁と同じ

5. 壁開口周辺部
a 材: 使用するボルト、部材は一般部分にならう
b 材: 一般胴縁と同じ、ただしh>2000の場合は断面リストによる
c 材: 断面リストによる

注) 各部の接合はボルトまたは溶接とする

根太関係

1. 取付位置及び取付寸法

取付方法	断面図	D: 根太のせい g1: 標準ゲージ a1: 根太の肌すき寸法 0~10
ボルト使用	梁上 通し形	
	切断形	
溶接	切断形	
	梁上 通し形	

2. 取付部材の寸法(ボルト使用の梁上通し形の場合)

取付部材(ピース)	
根太のせい(D)	50 L-50×50×6
	60 L-60×60×5
	65 L-75×75×6
	75 L-75×75×6
	90 L-90×90×7
100 L-90×90×7	
120 L-100×100×7	
取付ボルト	2-M12 P=50 e=25
	2-M16 P=60 e=35
	2-M20 P=70 e=40
	10

3. 取付部材と梁の接合

梁の上面(フランジ)に取付ける場合 梁の側面に取付ける場合
(直接根太を溶接する場合)

梁の側面に取付ける場合(ガセットプレートを介する場合)

4. 鋼板及び鋼鋼板の継目の溶接

5. 補足受材

梁上にプレート張る場合

根太・つなぎ材の仕口

1. 山形鋼(SS400)

部材	接合部				
	H, T, B	G, PL	e	p	
L-50×50×6	2-M12	6	35	60	
L-60×60×5	2-M12	6	35	60	
L-65×65×6	2-M16	9	35	60	
L-75×75×6	2-M16	6	35	60	
L-90×90×7	2-M20	9	40	70	

2. 溝形鋼(SS400)

部材	接合部					タイプ
	H, T, B	G, PL	e	p		
[-100×50×5	2-M16	6	35	60	A	
[-125×65×6	2-M16	6	35	60	A	
[-150×75×6.5	2-M16	6	35	60	B	
[-185×75×7	2-M20	9	40	70	B	
[-200×80×7.5	2-M20	9	40	70	B	

3. 鋼管(STK400)

部材	接合部				
	H, T, B	G, PL	e	p	
φ-48.6×3.2	2-M16	6	35	60	
φ-60.5×3.2	2-M16	6	35	60	
φ-76.3×3.2	2-M16	6	35	60	

折板取合関係

1. 折板取合部分詳細図

スプラインプレート
20長さ 20

CT-75×75×5×7を加工

C-100×50×20×2.3

鉄骨階段

採用タイプには使用部材を記入する

タイプA

タイプB

タイプC

根太

ササラ桁

CHPL-4,5

CHPL-3,2

ワイヤーメッシュ
4φ-100×100

PL-4,5

アクセス建築計画 三重県知事登録 第1-1076号 一級建築士登録 第242745号 伊藤 幸治
構造設計一級建築士交付 第 7026 号
構造関係規定に適合していることを確認

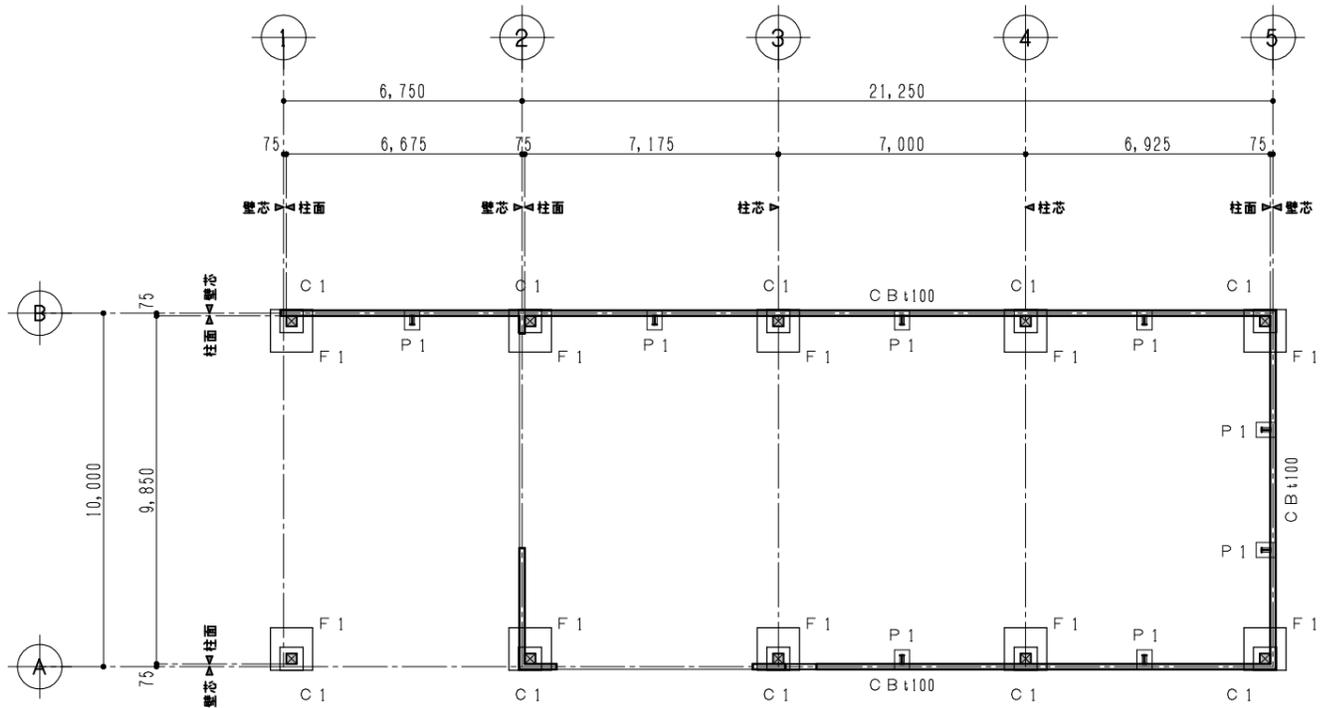
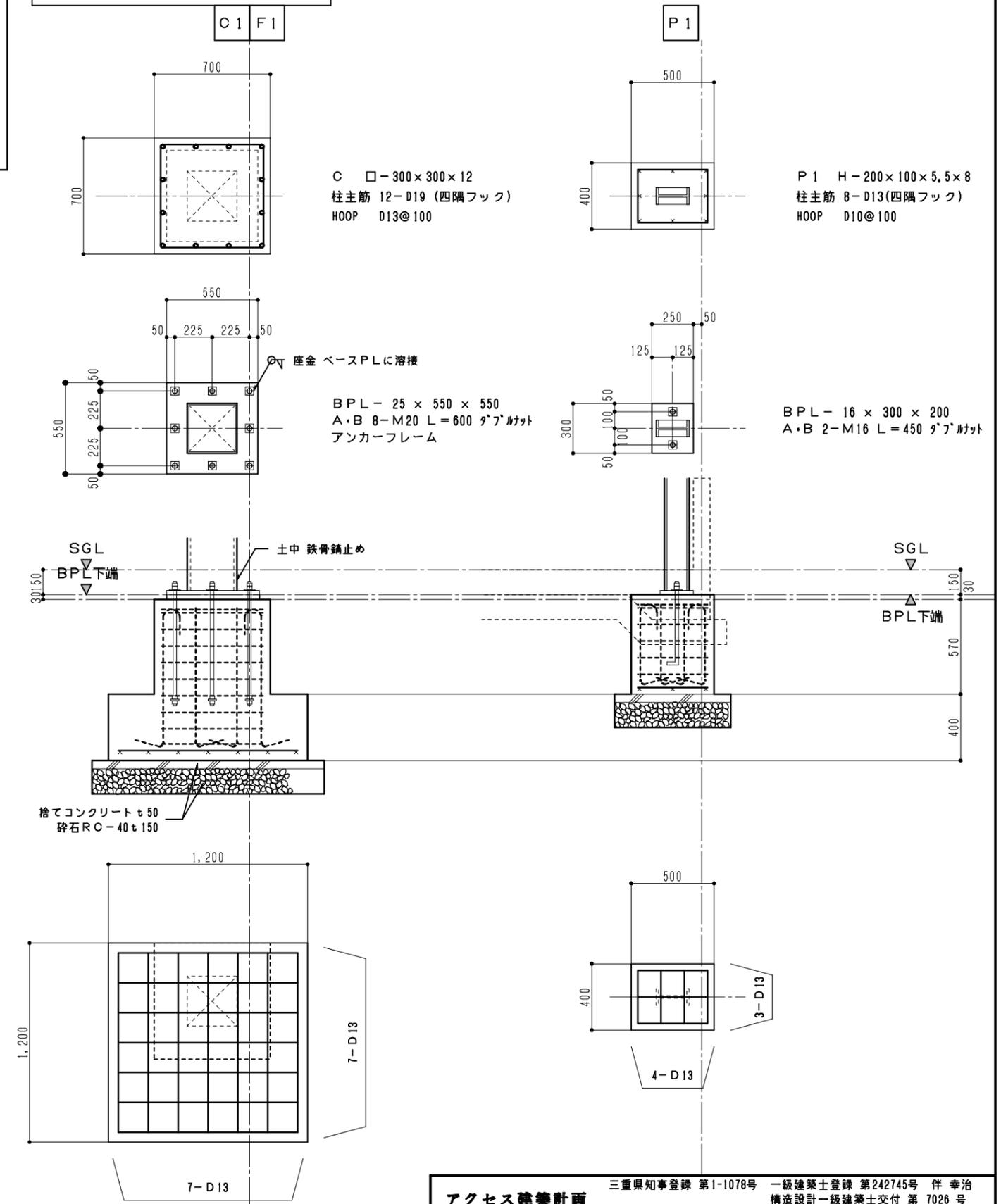
使用材料・注意事項

- 1 地耐力 90KN/㎡ (長期) N=18
- 2 鉄筋 SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
- 3 捨てCON 4Fc = 15N/㎡
- 4 基礎CON 4Fc = 21N/㎡
- 5 土間CON 4Fc = 21N/㎡

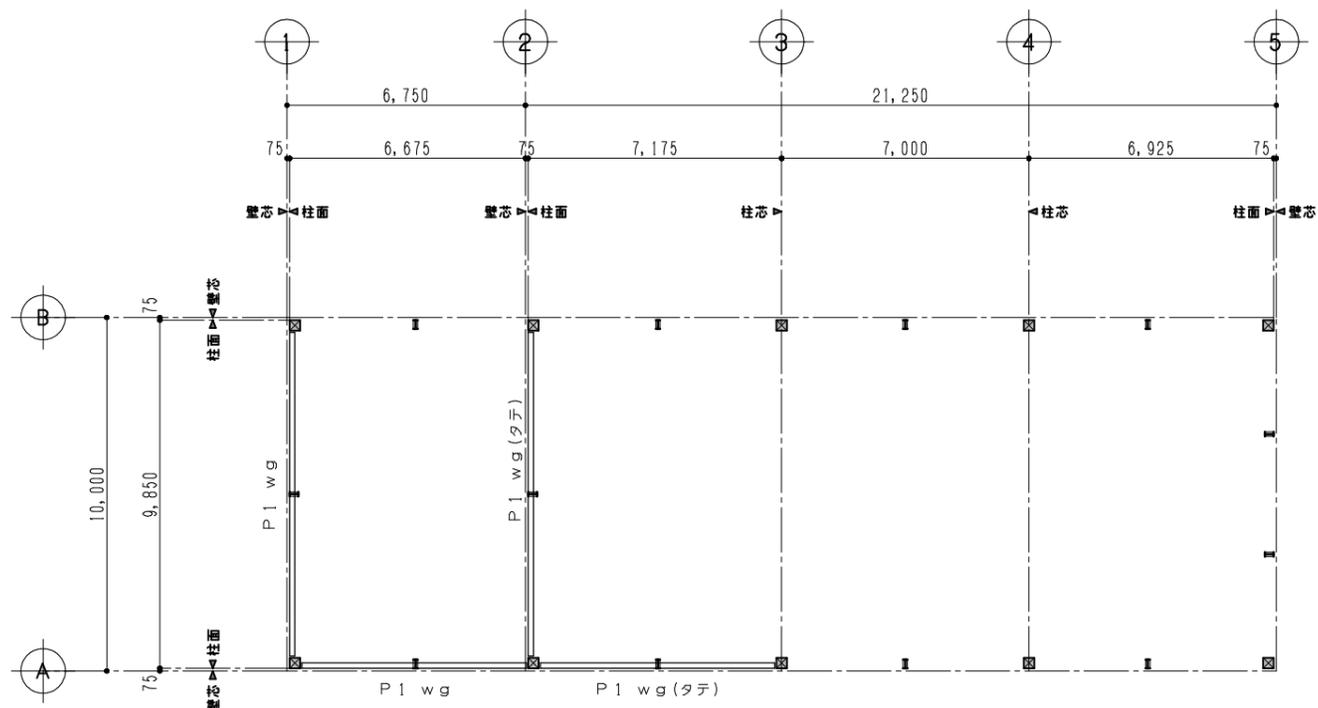
試験方法・養生等

- 1 コンクリートの強度試験方法・配合・養生方法は、
国土交通省官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書に依る
- 2 型枠の使用材料・養生方法は、
国土交通省官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書に依る
- 3 鉄筋の圧接部分の試験方法は、
国土交通省官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書に依る

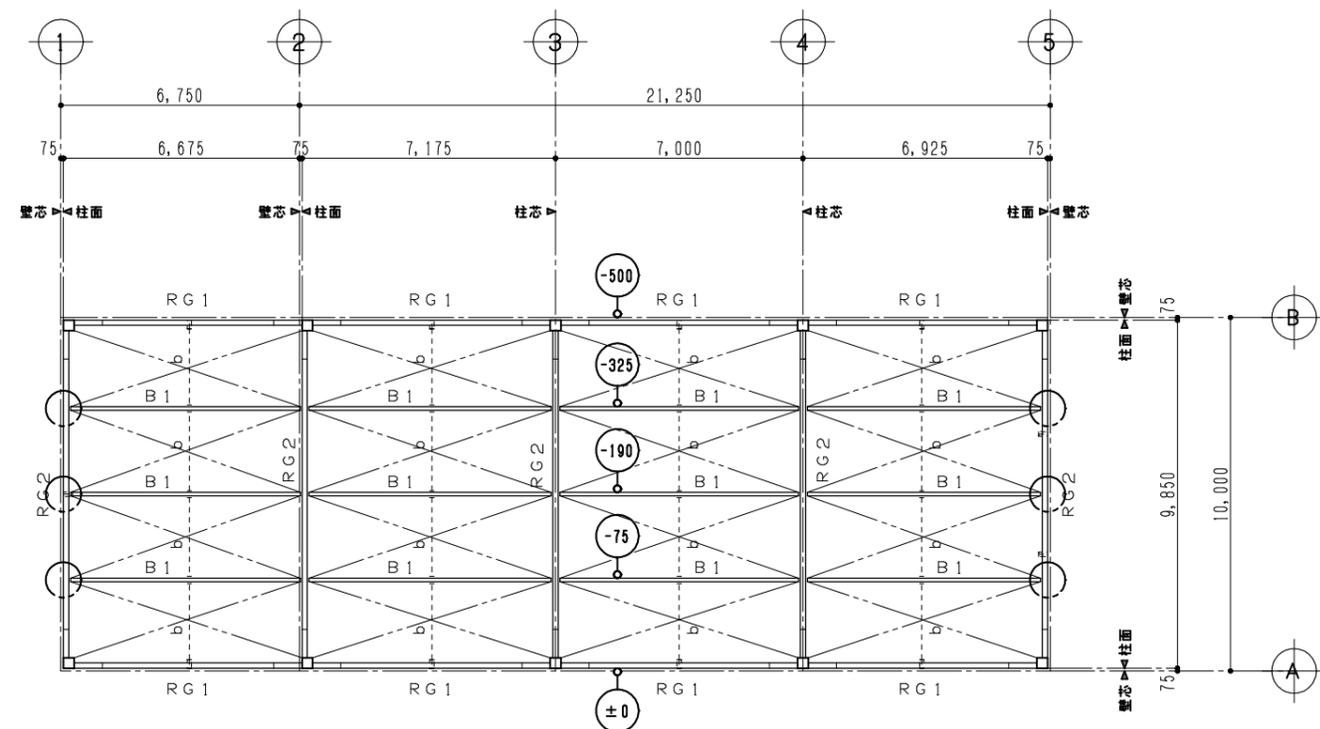
基礎詳細図 1/30



アクセス建築計画
三重県知事登録 第1-1078号 一級建築士登録 第242745号 伴 幸治
構造設計一級建築士交付 第 7026 号
構造関係規定に適合していることを確認



中間 梁伏図



梁伏図

- B1 3-M20
- 小屋ブレース M16
- RG ±0 からの高低差を示す
- Gのジョイントは柱面から75とする

アクセス建築計画 三重県知事登録 第1-1078号 一級建築士登録 第242745号 伴 幸治
 構造設計一級建築士交付 第 7026 号
 構造関係規定に適合していることを確認

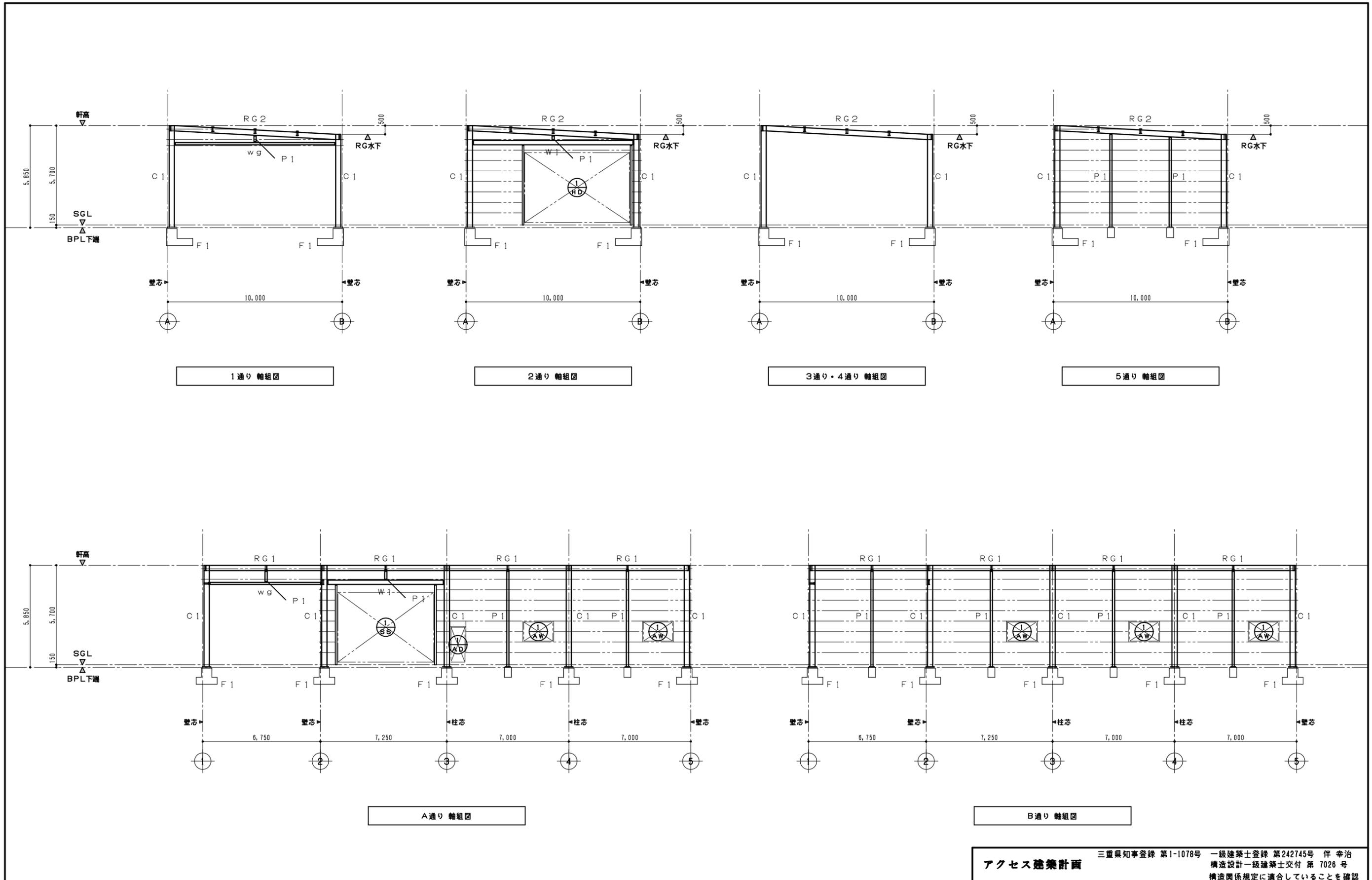
工事名
株式会社 ささら 倉庫新築工事

図面名
梁伏図

スケール
1/200

8-7

零設計 四日市市末永1059-1 プロミnent四日市804 TEL・FAX 059-333-2078
 三重県知事登録 第1-1761号 一級建築士登録 第236166号 伊藤 等



アクセス建築計画
 三重県知事登録 第1-1078号 一級建築士登録 第242745号 伴 幸治
 構造設計一級建築士交付 第 7026 号
 構造関係規定に適合していることを確認

工事名
 株式会社 ささら 倉庫新築工事

図面名
 軸組図

スケール
 1/200

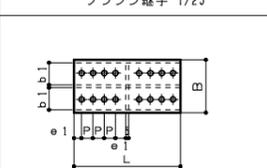
8-8

零設計
 四日市市末永1059-1 プロモント四日市804 TEL・FAX 059-333-2078
 三重県知事登録 第1-1761号 一級建築士登録 第236166号 伊藤 等

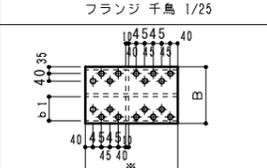
符号	圧縮材の細長比		断面寸法	フランジ		ウェブ		備考
	max λx	max λy		PL	HTB	PL	HTB	
C1	100.3	106.7	□- 300 × 300 × 12 (BCR295 MSTL-0142)	BPL- 25 × 550 × 550 (SNR400) A・B 8-M20 L=600 ｸﾞﾗﾌﾞﾙｯﾄﾞ アンカーフレーム				
P1			H- 200 × 100 × 5.5 × 8 (SS400)	BPL- 16 × 300 × 200 A・B 2-M16 L=450 ｸﾞﾗﾌﾞﾙｯﾄﾞ GPL-9 HTB 2-M20				
RG1			H- 350 × 175 × 7 × 11 (SS400)	2-9	4-M20	2-9	3-M20	ウェブ@90
RG2			H- 340 × 250 × 9 × 14 (SS400)	2-12	10-M20	2-9	6-M20	ウェブ@90
wg			H- 250 × 125 × 6 × 9 (SS400)			1-9	2-M16	
W1			H- 250 × 125 × 6 × 9 (SS400)			1-9	2-M16	
B1			H- 248 × 124 × 5 × 8 (SS400)			1-9	2-M20	一部 GPL-9 HTB 3-M20
b			□- 100 × 100 × 2.3 (STKR400)	GPL-6 HTB 2-M16				
V			M16 フルブレース (J S I A 5540) フルサト工業	GPL-9 HTB 1-M16				
胴縁内柱			□- 100 × 100 × 3.2 (STKR400)	GPL-6 HTB 2-M16				
胴縁			C- 100 × 50 × 20 × 2.3@600 ヨコ (SSC400)	PL-4,5 中ボルト 2-M12				

使用鋼材 錆止め塗料 JIS K 5674 2回塗 (F☆☆☆☆)				高力ボルト、ボルト、アンカーボルト、スタッド		
施工箇所	種類	材質	備考	種類	機械的性質による等級(材質)	径(呼び名)
P・小梁・大梁	H形鋼	SS400	※	● 高力ボルト	F10T 又は S10T	M16・M20 (MBLT-0052)
プレート	平鋼	SN490C	PL-16以上	● 中ボルト	● 4T ○	
		SN400B	PL-12以下	● アンカーボルト	● SNR400 ○ SS400	
		SS400	GPL F:W:カバープレート	○ スタッド	頭付きスタッド JIS B1198	
柱	角型鋼管	BCR295	C1	○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト	○ F8T ○	
ブレース	丸鋼	SNR400B				

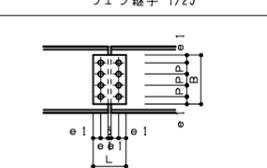
フランジ継手 1/25



フランジ継手 千鳥 1/25



ウェブ継手 1/25



ボルト ゲージ

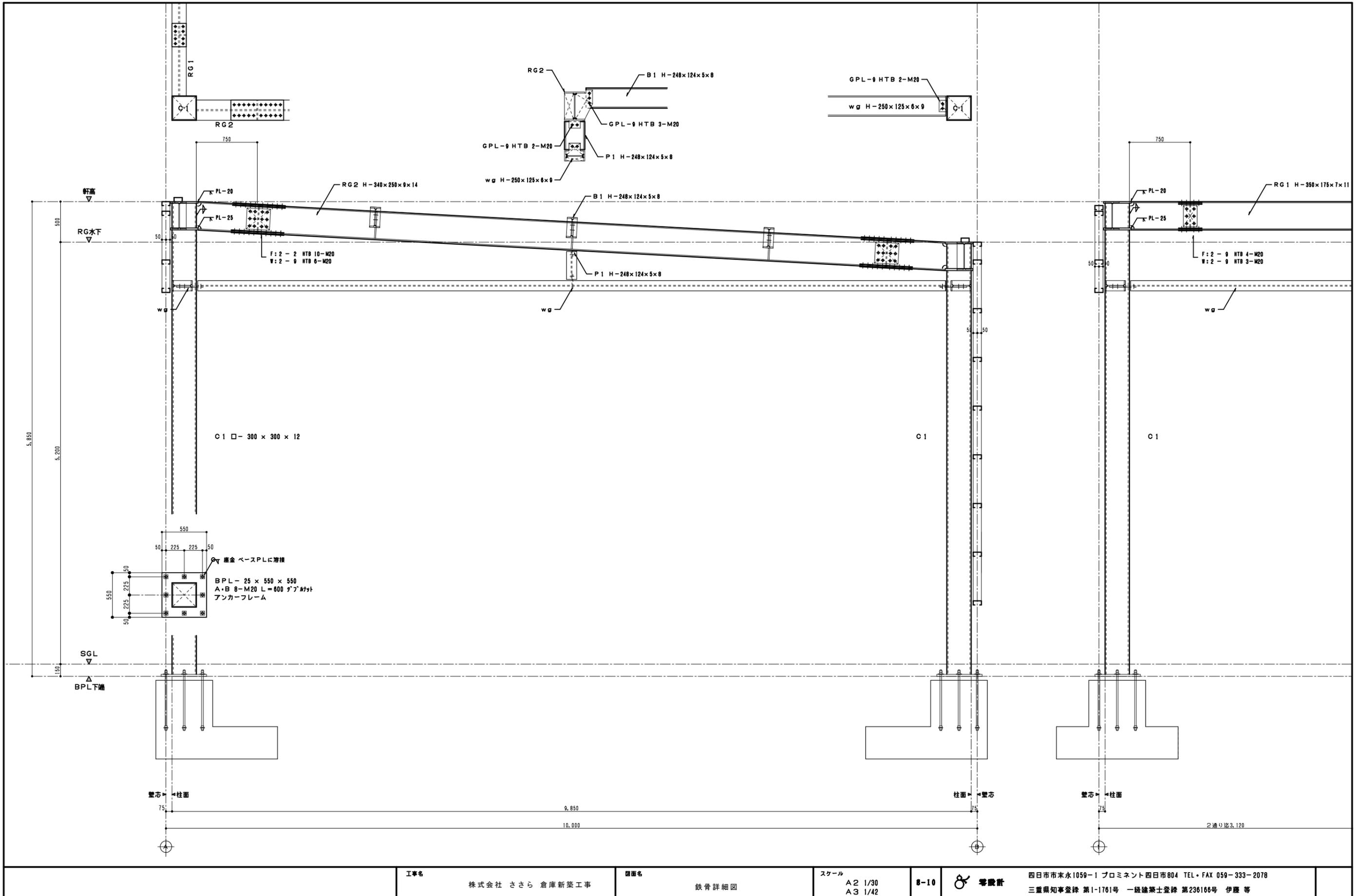
B	g1	g2	呼称	フランジピッチ	最小端あき	最小端あき	穴径
100	56			P	ø1	ø2	φ
125	75		M16	60	40	25	17.5
150	90		M20	60	40	30	22.0
175	105		M22	60	40	35	24.0
200	120						
300	150	40					

H型鋼 大梁 継手表

ボルトのピッチ 端あき 端あき

三重県知事登録 第1-1078号 一級建築士登録 第242745号 伴 幸治
アクセス建築計画
 構造設計一級建築士交付 第 7026 号
 構造関係規定に適合していることを確認

四日市市末永1059-1 プロモント四日市804 TEL・FAX 059-333-2078
 三重県知事登録 第1-1761号 一級建築士登録 第236166号 伊藤 等



工事名 株式会社 ささら 倉庫新築工事

図面名 鉄骨詳細図

スケール A2 1/30 A3 1/42

8-10 零設断

四日市市末永1059-1 プロミネント四日市804 TEL・FAX 059-333-2078
三重県知事登録 第1-1761号 一級建築士登録 第236166号 伊藤 等